

Flute Ensemble Glockenがお届けするレクチャーコンサート

失われた音を求めて

～オリジナル楽器の優雅な響きvol.11～

アメリカン・フルートの世界 その1

2025年 6月 8日(日)
開演:14時(開場:13時半)

会場:甲東ホール 阪急甲東園駅西口よりすぐ
兵庫県西宮市甲東園3-2-29
入場料:大人2500円、学生(高校生以下)1000円
(当日券:大人3000円、学生1500円)

お問い合わせ:glocken2020@gmail.com
090-9547-5525(金澤)

出演:フルートアンサンブルグロッケン
金澤浩子・森近鈴香・桑名明子 他

プログラムやコンサートで使用する楽器は裏面で紹介しています。

Flute Ensemble Glocken



18世紀～20世紀の歴史的な楽器を駆使する、他に例を見ないフルートアンサンブル。2003年結成。ピッコロからバスフルートまでの通常のベーム式フルートだけでなく、メンバー全員が1keyのバロックフルート、5～8keyのクラシカルフルート・ロマンティックフルートを所有・習得し、作曲された時代に近い響きの再現を目指している。団が所有する大量のフルートは国も時代も多種多様、フルートのストラディバリウスと呼ばれるレイ・ロットやヘルムート・ハンミツヒ、モーツァルト・ベートーヴェン・ドビュッシー・ラヴェルが生きていた時代のフルート、象牙や金のフルート等々、通常は博物館で眺めるしかない楽器の音を実際に聴くことができる貴重な場を提供している。主な活動実績としては、ムラマツリサイタルホールでの定期演奏会(03'大阪)、サロンコンサート(05'大阪・15'奈良)の開催、けいはんなプラザロビーコンサート(京都)、兵庫県立美術館美術館の調べ(10'兵庫)、奈良YMCA音楽院チャペルコンサート(10'奈良)、ピッコロ室内楽サロン140(13'兵庫)、ミュージックフェストなら(13'14'22'奈良)、秋篠マNDERロビーコンサート(16'奈良)、華コンサート(16'奈良)、神戸国際フルート音楽祭(17'兵庫)、学園前アートフェスタ主催・中野美術館ギャラリーコンサート(19'奈良)などに出演。関西を中心に自主公演や依頼演奏を行っており、近年ではYouTubeによる配信にも取り組んでいる。

2019年より開始した「失われた音を求めて」のコンサートシリーズは10回を越え、各回のテーマのもと、作曲家の人生とフルートの歴史等の解説と共に、大変貴重で珍しいピリオド楽器の演奏を取り入れた企画に取り組み、毎回好評を得ている。2020年度奈良市文化芸術活動臨時支援事業、2021年度奈良市文化芸術活動支援事業に採択された。

【今回の聴きどころ】

何かと話題の現在のアメリカ合衆国ですが、このコンサートで中心に取り上げるのは、20世紀の古き良きアメリカ。2度の世界大戦で荒廃したヨーロッパでは、歴史的なフルートメーカーが次々廃業し、フルート製作の世界的中心地はボストンに移ります。今回は、アメリカのフルート製作を牽引したヘインズ社を中心に使用いたします。ヘインズは現在も存続するメーカーですが、音質はずいぶん変わりました。音量は確かに現代の楽器の方がありますが、オールドヘインズの甘い音色は、熱烈な支持者により、今も愛され続けています。その他に、弦楽器のピオラのように、表にあまり出ることのないアルトフルートをソロでフューチャーしたり、もちろん、グロッケンお馴染みの新出オリジナルバロックフルートが登場したり、今回も盛りだくさんでお届けします。今回使用する甲東ホールは、公共ホールで派手な作りではありませんが、大変響きが良く、古楽の演奏会がよく行われることで知られています。希望溢れる時代の響きに身を委ね、しばし日頃の喧噪をお忘れください。

【プログラム】

◇J.S.バッハ アリア「愛よりわが救い主は死に給わんとす」

歴史的傑作「マイ受難曲」のクライマックスシーンをオリジナル楽器の哀愁を帯びた響きで

◇J.S.バッハ&G.ショッカー パルティータ「ゴースト」よりアルマンド

鬼才・ショッカーの遊び心溢れる、アメリカンな発想の二重奏

◇P.M.デュボア フルート四重奏曲

フルート四重奏の草分け的名曲をオールド・ヘインズ4本の得も言われぬ甘い響きで

◇A.ドヴォルザーク 四重奏曲第12番へ長調作品96「アメリカ」より
「新世界より」と並ぶ、ニューヨーク・ナショナル音楽院長時代の名曲

◇G.ショッカー ベルベット

タイトル通り、ベルベットのようなアルトフルートの魅惑の音色をソロで

◇A.F.ドップラー アメリカ小二重奏曲作品37

アメリカ国歌まで登場する、旅の演奏家ドップラー兄弟の陽気なパラフレーズ

◇L.バーンスタイン ウェストサイドストーリー・セレクション

時代の流れの中で様々な要素が融合したバーンスタインの名作をオリジナルアレンジで



【「失われた音を求めて～オリジナル楽器の優雅な響き」これまでのコンサート】(2025.4.1現在)

- ◆vol.1 ハンブルクの音楽その1 2019.6.2 Gallery GM-1
- ◆vol.2 ドレスデンの音楽その1 2019.9.1 大和文華館文華ホール
- ◆vol.3 ベルリンの音楽その1 2020.1.12 La Paz
- ◆vol.4 パリの音楽その1 2020.9.6 なら100年会館小ホール

※奈良市文化芸術活動臨時支援事業(vol.5～vol.7)

- ◆vol.5 ロンドンの音楽その1 2020.12.28 奈良ホテル聖ラファエル教会
～ヴィクトリアン調のチェンバー・オルガンとロンドン名工フルートの夢の饗宴～
- ◆vol.6 東大寺に響くパリのジャポニスム 2021.1.31 東大寺・金鐘ホール
～752年 大仏開眼供養会と1900年第5回パリ万博博覧会にまつわる楽器と音楽、そして現代
- ◆vol.7 パリの音楽その2 2021.2.28 奈良市北部会館3階市民ホール
～名器たちの競演 3本の初代レイ・ロットとスタンウェイ、そして19世紀のオリジナルフルート

※奈良市文化芸術活動支援事業

- ◆vol.8 ベルリンの音楽その2 2022.1.10 なら100年会館中ホール
～戦禍を癒したフリードリヒ大王の音楽～

◎ムジークフェストなら2022 in 室生寺 2022.5.17

～時空を超えた洋名笛の多彩な響き～

- ◆vol.9 ウィーンの音楽その1 2023.1.9 ならまちセンター市民ホール

- ◆vol.10 ベーム式フルードへの道その1 2024.1.28 La Campanella
～ルネサンスフルードからレイロットまで名工フルード夢の饗宴～